

党市議団がTPP参加反対の一点で 医師会と農協に申し入れ

日本共産党

日本共産党市議団は、TPP参加反対の一点で共同を広げるため、党中央が発表したアピールを持って、9日に町田市医師会、10日に町田市農業協同組合に申し入れをおこないました。その内容は次の通りです。

日本共産党市議団と初めて懇談をおこなった町田市医師会からは、川村会長、森内副会長、小泉副会長、山下理事の4名の先生が対応をしてくださり、冒頭に昨年の市議選でのむら市議団長に対して医師会が推薦を出したことが話題になりました。史上初めて共産党候補に推薦を出したことで、多方面から問い合わせがあったそうです。

TPP問題については、「TPPに参加をすれば、国民皆保険制度は壊されてしまう」「アメリカの意向にそってTPPがすすめられている」などの話が出され、「医師会としてもTPP反対の立場」であり署名活動にもとりくんでいることが交流されました。

町田市農業協同組合は、若林組合長が対応をしてくださり、8日【写真Ⅱ】医師会と懇談する党市議団。左手前から小泉副会長、川村会長、森内副会長、山下理事。



におこなわれた「TPPから日本の食と暮らし・いのちを守る国民集会」での志位委員長のあいさつについて「明確な反対のあいさつだった」と語っていました。

町田市農協では、TPP反対署名を1万1千筆集めたといいます。都市農業にとっては、例外なき関税撤廃と同時に関税以外の貿易障壁——「非関税障壁」の撤廃によって、遺伝子組み換え問題、BSE問題、残留農薬問題などは非常に大きな影響を及ぼす可能性があることが話題になりました。

野田首相は、TPP交渉参加を表明しましたが、たたかいはこれからです。党市議団は、9～11日の3日間、鶴川駅、成瀬駅、町田駅で署名と街頭演説をおこないました。「TPP参加反対」の一点で力を合わせましょう。

【写真Ⅱ】町田市農業協同組合の若林組合長（中央）と懇談する党市議団。

